

高知精神保健

発行所 高知市丸の内1丁目2-20
 高知県地域福祉部障害保健福祉課内
 高知県精神保健福祉協会
 電話：088(823)1111・088(823)9669(直)
 FAX：088(823)9260
 E-mail：kochi-mhwa@mopera.net
 発行人 明神 和弘 編集人 谷 晃

第265号

高知県精神保健福祉協会

平成29年度活動計画

高知県精神保健福祉協会会長 明神 和弘



九州では昨年は熊本地震がありその復興もままならないうちに先日の大雨による水害に見舞われ大変な惨事となっています。被害に遭われた皆様方はさぞ辛い思いをされているのではないかと、こころよりお見舞い申し上げます。一刻も早く復興し穏やかに過ごせる日々が戻ってくることを祈っています。

さて、平成29年度の高知県精神保健福祉協会の活動計画がまとまりましたのでご報告いたします。

広報委員会では例年通り『高知精神保健』を年3回(7、9、3月)発行いたします。特集記事として、精神保健福祉大会関連、スポーツ大会(卓球大会)、文化交流会、バリアフリーフェスティバル関連、そして今年愛媛県で開催される全国障害者スポーツ大会でのオープン競技となり、「精神障害者フットサル」(高知は香川と徳島のチームを破り出場が決定しています)なども取り上げていく予定となっています。またホームページのPDFの写真をカラーにしてより充実したものにして考えています。

大会実行委員会では、“認知症”をテーマに選びました。3年前にも認知症を取り上げましたが、今年は少し違った視点から認知症を見つめる予定です。『あなたもできる認知症予防～脳のアンチエイジング～』がテーマです。認知症にならないためにはといった話になるのではないかと考えています。講師はテレビにも良く出演されている鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座・環境保健学分野教授：浦上克哉先生です。その後、認知症の『地域での取り組み』というテーマでシンポジウムが行われる予定です。大会日程は平成29年10月11日(水)13:00～16:30で、例年通り高知県民文化

ホール(グリーンホール)で開催いたします。

総合福祉委員会では卓球大会を平成29年6月20日(火)高知県民体育館にて、文化交流会は平成30年2月27日(火)高知県民文化ホール(グリーンホール)にて行います。昨年参加チームが少なくなり中止となったソフトボール大会の代わりとして行ったバリアフリーフェスティバルは、各病院や施設から多くの皆様が参加され好評でしたので今年も引き続き行いたいと思っており、平成29年9月29日(金)高知県民体育館で開催予定です。

調査研究委員会は昨年に引き続き休会とさせていただきます。取り上げてみたい研究課題が見つかれば開催していきたいと考えています。

研修委員会では「第20回精神保健福祉従事者リフレッシュ研修」を開催いたします。日程は平成29年9月～11月で、月1回行う予定です。(P3右下参照) また「地域での研修および交流会」を平成29年12月1日(金)、中芸地区(田野町)で開催する予定をしています。

基金運営委員会では、今年も障害福祉サービス事業所等への貸付事業を行います。借入金の限度額は200万円で償還期限は1年以内、無利子で貸付いたします。必要に応じて利用して頂ければと思っております。

こうして活動計画を見てもみると、毎年毎年ほとんど同じ内容で変化がなく何かしなければという思いもあって精神保健福祉協会の『あり方検討委員会』を立ち上げました。委員でよく検討し、時代に応じた県民の皆様方のお役にたてるような協会を作っていければと思っていますので、どうかご支援宜しくお願いいたします。

目次

平成29年度活動計画 1
 平成29年度高知県精神保健福祉関係機関連絡会 2
 平成29年度高知県精神障害者家族会連合会総会での講演 3

第20回精神保健福祉従事者リフレッシュ研修 3
 平成29年度日本精神科救急学会教育研修会 in 高知 4
 精神保健福祉卓球大会の結果について 4

平成29年度

高知県精神保健福祉 関係機関連絡会

日時:平成29年7月6日(木)

場所:高知城ホール

各機関の平成29年度の活動状況について

1. 高知県精神保健福祉士協会

<http://www.kochi-psw.com/>

- ・ホームページを開設し活用していく。
- ・7月22日、高知県ソーシャルワーカーデイ講演「それって虐待??」
- ・11月25日26日、中四国精神保健福祉士大会高知大会を開催(高知会館)

2. 高知県断酒連合会

<https://kochi-danshukai.jimdo.com/>

- ・武内晴夫氏が全日本断酒連盟の理事(四国ブロック長)就任
- ・9月18日、第45回高知酒害サマースクール(主催:高知アルコール問題研究所、高知県民文化ホールグリーン)講演「なぜ、生きやすい地域のひとたちは、ひとの話を聞かないか」

3. 高知県臨床心理士会

- ・平成30年9月に試験が行われ、国家資格「公認心理士」が誕生する。
- ・四国の臨床心理士会の役員会議「四国サミット」が香川県で行われる予定で、災害支援の四国内での取り組みなどが話し合われる。

4. 日本精神科看護協会高知支部

<http://www.jpna.jp/>

- ・本年度の活動方針は「1. 日精看の活動を、多くの県民の方が認識できるようになる。2. 精神保健福祉分野を、学びたい方々に必要とされる職能団体になる。」
- ・7月1日をこころの日としてイベントを開催。本年度は牧野植物園で園長先生に漢方薬のお話をいただいた。

5. 精神障害者ボランティアほっとはあと

- ・高知県精神保健福祉ボランティア連絡協議会が設立された。
- ・同協議会が11月19日にイベント「心のびのび気分ほっこり交流会」を企画(男女共同参画センター ソーレ)
- ・第22回ソフトバレー大会を条件が整えば開催する。

6. 高知県精神神経科診療所協会

<http://www.japc.or.jp/>

- ・日本精神神経科診療所協会の次年度総会が淡路島で開催される。
- ・11月に四国地区総会と、全国災害対策担当者会議が開催される。

7. 高知県精神障害者地域生活支援施設連絡会

<https://www46.atwiki.jp/kochi-shstsren/>

- ・共同受注窓口協議会の研修から新規事業立上げの実績が生まれたことと、災害時の相互支援力を高めるためにも、普段からの会員相互の日常的な交流情報交換は不可欠なものになる。インターネット、SNSの活用を検討。
- ・ピアサポーターの参加を促進する交流行事を開催。

8. 高知県精神障害者家族会連合会

- ・平成29年度活動計画『地域で暮らすために』つながる家族会をめざして
- ・10月19日20日、みんなねっと全国大会(岡山県倉敷市)
- ・12月5日6日、みんなねっと四国ブロック大会 in 高知(三翠園)

9. 高知県社会福祉協議会

<http://www.kochiken-shakyo.or.jp/>

- ・「こうち若者サポートステーション」の対象地域の拡充
- ・「地域生活定着支援センター」事業の開始。
- ・高齢者・障害者権利擁護センターの運営、子どもの居場所づくりの推進(権利擁護センター)

10. 高知いのちの電話協会

<http://k-inochi.sakura.ne.jp/>

- ・4月から17期養成講座を開講。受講生9名、来年度相談員に。
- ・広報紙「高知いのちの電話」発行。ホームページによる広報の充実。
- ・相談電話番号 TEL. 088-824-6300
毎日午前9時から午後9時まで(年末年始は午前10時から午後6時まで)



高知県精神保健福祉関係機関連絡会の様子

平成29年5月26日(金) 高知県精神障害者家族会連合会総会での講演
**「地域で暮らすために
 ~家族・支援とのより良い関係づくり~」**
 高知県中央西福祉保健所 田所 淳子

昨年の相模原市での障害者施設における殺傷事件の犯人が精神科にかかっていたことで、精神保健福祉法が改正されつつある。あの犯人が完全な精神疾患かどうかの論争もさることながら、そもそも精神科医療によって犯罪を防止することなどできる訳がない。精神科医療は精神科疾患や精神障害へのアプローチをするものである。しかし、措置入院をした方へのフォローは確かに少なかったため、その改善を目指して国は今、措置入院から退院した方への地域支援の在り方を検討している。

前置きはさておき、人間はストレスに終始晒され、ストレスを受ける心身の脆さも各人様々違う。コミュニケーションとストレスに関する話は遡ること50年以上前のイギリスの精神科医療にも関連していた。精神科病院を退院した患者の予後や安定度は、患者のご家族の感情の出し方(EE)に左右されることが判明したのだ。基準以上に「批判的コメント」「敵意」「感情的巻き込まれ」を出すご家族と生活する患者は再発のリスクが高い。ご家族のEEが高ければせつかくの服薬も効果が落ち、予後が悪い。

しかしこれは、EEが高いご家族が悪い訳ではなく、慢性疾患を抱えたご家族の当然の姿である、と認識していただきたい。そしてこの高いEEを变えるのに最も必要なのは、「正しい知識を得ること」「同じ者同士で勉強する場」だ。病院や団体で行われている家族教室でご家族が学んでいくと、なんと確実にEEが下がり、適切な対応に変化していくことが証明されている。肯定的なものの見方やコミュニケーションの適正化を通じて、ご家族は患者と望ましい関係を構築できるのだ。



もちろん、患者本人もコミュニケーションを学ぶと、さらに再発・再燃の確率は下がり、服薬の効果も表れる。また「他の家族員に関する問題がない」「経済的な悩みがない」など、生活上の負担事情のない家族ほどEEは低いとされ、ネガティブな言動や感情が少ない。だからこそ福祉制度を利用し、ご家族が肩の荷を下ろす必要があるのだ。そして、家族教室や心理教育は、家族の「高齢化」「孤立化」「教育なし」「ケアなし」「経済的困窮」の5Kを、違った5K「困難感の減少」「肯定的な見方」「解決指向」「行動の変容」「家族関係の改善」にしていけるのだ。

第20回精神保健福祉従事者リフレッシュ研修

1. 目的

精神保健福祉に従事する職位等の資質向上と実務に役立つ知識・情報を研修により獲得し、日々の業務に役立てる。

2. 対象者

精神科医療機関、障害福祉サービスの事業所職員、精神保健福祉の行政担当職員及び、家族、ボランティア。

3. スケジュール

回数	日 時	場 所	内容および講師
第1回	平成29年 9月6日(水) 14:00~16:00	(医)須藤会 土佐病院	「Shall we dance?」 (医)須藤会 土佐病院看護部長 脇 節子 氏 (医)須藤会 土佐病院作業療法士 吉良 勇哉 氏
第2回	平成29年 10月6日(金) 14:00~16:00	高知県立障害者 スポーツセンター	「スポーツなら、どんな障害も超えられる」 ~一緒にスポーツしませんか?~ (社福)ファミリー高知ウェブ施設長 西山 由江 氏
第3回	平成29年 11月6日(月) 14:00~16:00	調 整 中	「ゆる体操で健康だー！ ~身体をゆるめて心身ともに快適に~」 ゆる体操準指導員1級 (医)精花園 海辺の杜ホスピタル院長 岡田 和史 氏

4. 申し込み・問い合わせ

高知県精神保健福祉協会事務局まで、郵送またはFAXで。事務局所在地はP1右上。締め切りは平成29年8月21日(月)。

平成29年度日本精神科救急学会教育研修会 in 高知

テーマ「措置入院から地域移行へ」

平成29年 7月 1日(土) 土佐病院(高知市新本町)

講演1 『司法と精神科救急医療』

講師 五十嵐禎人 (千葉大学社会精神保健教育研究センター教授)

講演2 『戦後精神科医療と病院群－民間病院と自治体立病院、果たした役割とその功罪』

講師 計見一雄 (社会医療法人公徳会 佐藤病院 顧問)



パネルディスカッション「措置入院から地域移行へ」



- ①「土佐病院における措置入院受入れの動向と地域移行に向けた取り組み」
中村 拓真(土佐病院 看護師)
- ②「地域移行に苦慮した措置入院症例 (県境越境症例について)」
深見 悟郎 (千葉県精神科医療センター 病院長)
- ③「グレーゾーン事例の措置入院治療と地域移行－警察を含む関係機関との連携に焦点を当てて」
耕野 敏樹 (岡山県精神科医療センター 精神保健指定医)
吉川 輝 (岡山県精神科医療センター 精神保健福祉士)

平成29年度 高知県精神保健福祉卓球大会の結果について

6月20日(火)、県民体育館にて、精神保健福祉卓球大会が11施設の参加にて開催されました。休憩時間には、審判長とのエキシビジョンマッチもあり、みなさんで楽しむことができました。

***** 結果報告 *****

- 団体の部
優勝:高知ハーモニーホスピタルAチーム
準優勝:土佐病院Aチーム
第3位:細木ユニテイ病院Aチーム
第4位:藤戸病院

- 個人の部
男子の部 優勝:愛幸病院の選手
準優勝:同仁病院の選手
女子の部 優勝:藤戸病院の選手
準優勝:土佐病院の選手

選手のみなさん、応援のみなさん、お疲れさまでした。



命のために、
できること
すべてを。

 大日本住友製薬
Innovation today, healthier tomorrows